

発電所対策本部運営訓練を実施しました

9月26日、原子力災害発生時に陣頭指揮を行う対策本部の運営訓練を実施しました。

今回の訓練は、地震により原子炉が自動停止、その後、全ての電源が失われたことにより、原子炉へ冷却水を送るためのポンプが停止し、原子炉の水位が低下したとの想定で行いました。

当日は、発電所対策本部内での指揮・命令や情報共有、社内外への通報・連絡などを行い、対策本部が有効かつ円滑に機能することを確認しました。

今後もさまざまな訓練を積み重ね、災害時における対応力の維持・向上に努めてまいります。



事態の早期収束に向け、迅速・的確な情報伝達訓練に取り組んだ

放射線看護に関する現場研修を実施しました

9月10日から14日までの5日間、放射線看護を学ぶ弘前大学大学院保健学研究科の大学院生2名の現場実習に協力しました。

実習では、原子力発電所における労働者の健康管理や放射線被ばくを伴う傷病者が発生した際の処置の流れ、医療施設や消防との連携体制などを学んでいただきました。

研修生からは、「発電所内でけが人が発生した際の対応を知ることができて良かった」、「実際の現場を見たことで、理解を深めることができた」などの感想が寄せられました。

今後も、このような教育支援の取り組みを続けてまいります。



除染処置について現場で学ぶ研修生

「東北電カスクールコンサート&吹奏楽クリニック」を開催しました

9月27日、アメリカで活動する金管アンサンブル「ルイビル・ブラス」と弘前市を中心に活動するパーカッショングループ「ファルサ」の5名を招き、東通小学校においてコンサートを開催しました。

当日は、クラシックやジブリ映画の名曲メドレーなどが披露され、参加した児童他約170名がプロの奏でる臨場感あふれる音楽を楽しみました。

また、コンサート終了後には、吹奏楽クリニックを開催し、吹奏楽部員が演奏者から直接指導を受け、各楽器の基礎的な奏法などについて学びました。

今後も、地域の未来を担う子どもたちが個性や才能をのびのびと発揮できる環境づくりを応援する活動を継続してまいります。



ルイビル・ブラスとファルサの生演奏に聴き入る児童



楽器ごとに分かれて指導を受ける吹奏楽部員



郷土芸能の能舞と手踊りを披露していただきました

10月6日、東通原子力発電所PR施設トントウビレッジの「そば街道&秋まつり」において、岩屋青年会・岩屋子ども会の皆さまから能舞（「忍」「三婆」「八嶋」）と手踊り（サイタ踊り）を披露していただきました。

勇壮かつ優美な舞いが、訪れた多くの皆さまを魅了していました。



岩屋青年会 による「忍」の演舞

トピックス 「第50回東通村産業まつり」が開催されます

11月4日、東通村体育館および同駐車場において、「第50回東通村産業まつり」が開催されます。新鮮野菜や海産物、東通牛の販売、サケのつかみ取りなど、楽しいイベントが行われます。

当発電所は、東京電力ホールディングス(株)と共同で電力コーナーを出展いたします。ぜひ、皆さまお誘い合わせのうえお越しください。



エネルギークイズやドリンクサービスを実施（昨年の様子）